

男が女と共に 輝くために

共に輝くみほの会
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

初めて男女共同参画 に関わった頃

荒井美幸

私が「トレっこルーム」という子育てサークルを始めて12年が過ぎました。

子育て自主サークルの代表として、平成25年12月に第2次美浦村男女共同参画計画策定委員会委員の委嘱状を受け取りました。初めての会議に参加したものの、正直、何の会議かも分からず、「男女共同参画」とは言いますが、「何の三角形？」くらい初めて聞く言葉ばかりでした。そのような難しいような会議で、私が何の役に立っているのだろうと思いつつ座っていました。会

議が進むにつれ、男女が平等に…と理解できました。

また、別の会議に参加した時には、会議室に入って、指定された座席に着くと女性は私一人。役場関係者にも女性は一人もおらず、居心地の悪さを感じました。

そこで、必ず発言をしないと帰らない私です。今、この会議で男女共同参画がなされていない。何で女性は私一人だけなのでしょうか？」と強く訴えたことを今でもはっきり覚えています。

今では、村全体の会議のメンバーも女性のメンバーが増えた形になっています。私は何の学識もない、子育て中のただの主婦ですが、何か役に立ちたい、何か良くしたい、そんな気持ちがあります。会議での発言がきっかけで、村の会議の中にも変化が見られたことはとても嬉しく思います。

「男女共同参画」などという言葉は、若い世代の方などは聞き慣れない言葉なので、知らない方が多いのではないかと思います。ですが、何か変じやないかと思う事を少しずつ声を出して変えていく事ができる

社会になっていくことを願っています。

余談ですが、コロナ禍でイベントも会議も全く何もないという季節を過ごしています。

「みほ」産業文化・スポーツフェスティバルで模擬店の出店をはじめ、12年になります。今年が初めて何も無い11月3日を迎えました。淋しさもありましたが、何も無いのも何かいいなあと思えました。

コロナ禍の中、私は母子家庭での子育てです。大変すぎるほど大変ですが、「何もできない」「じゃなく」「何ができるだろう」「何をやれば良いのだろう」とコロナでも何でも、とにかく前に進むしかない毎日。母として、女性として邁進中です！

村では、各種団体の代表など、住民参加の委員会が施策を協議し村政を支えています。こうした委員会はかつて男性が多数でしたが、男女共同参画の推進のもと女性の登用を促進しています。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「年・末」(一字以上詠み込み)

年を重ねて目指すは白寿老いの人生夢航路
されいさつぱり今年の垢を洗い流した冬至風呂
銀杏はらはら黄金の道を母と今年も踏む音色
右往左往のコロナ禍年も空は希望の星月夜
老いた夫婦で年越しそばを吸るいつもの大晦日
年も年だし嫌気も差すがやはり惚れてる愚妻様
年をとるって色々気付く古希を迎えて肝据わる
年が増えれば病院通い増えて予定が埋まってく
嬉しコロナの薬が出来た！持病・年寄「先どうぞ」
わたし成年あなたは何と探り聞いている生まれ年
あつという間に年末迎え成せぬ計画コロナ禍
人はコロナで動けずこもりサルはのびのび年の暮れ
瘦せた唇に思いを馳せる子年コロナ禍活気失せ
悔し流れた忘年会にネオン提灯消えた街
祈願叶わず今年もわずか思い巡らす挫折感
並ぶ行列年末ジャンボ何処のどなたに当たるやら
今年コロナで故郷にも行けず孫に会えずで口惜しい
負けてたまるかコロナに勝って希望新たに迎える
寒さ身にしむ霞ヶ浦に姿優美な去年今年
夏にや瘦せたがまだまだやれる農具清めて年納め
コロナコロナで一年過ぎて喪中ハガキで知る訃報
十一月の俳句(題 当季雑詠)
山の端に落日早しそぞろ寒
青春の男羽子板かざりけり
友ひとり倒れしままに師走かな
高枝にポツンと残す木守柿
祖母の背や真ん丸半纏おんびひも
荷のすきまホッケ半身と手紙入り
冬日和小気味よき音花鉄
冬銀河大往生の友の声
冬の蠅スローな嬬と遊ぶごと
冬の日や名物おやきを半分こ
コスプレと煌々競う紅葉谷
冴ゆる夜に一音しめる救急車

飯塚筑風
篠原美千代
山崎泰弘
上野八千代
高橋一步
井戸賀献道
木村幸子
長谷川悦子
酒川夢花
関根秀子
増尾青蓮
沼寄朋香
山岡亜子
塚本夏雲
小藺江久美
小池きよし
門脇悠美
伊藤葉子
山岸錦洋
山崎笑子
石戸律華
(五十音順)
青野安佐子
石毛恵美子
市川紀行
海道民子
木澤はしめ
小林美佐恵
高柳幸子
田島早苗
中島輝子
長田敏笑
増尾尚子
松本秀子